

PRESS RELEASE

派遣留学生に特化したキャリアサポートで協働

関西外国語大学とリクルート

～長期留学と就職活動の両立に向けて～

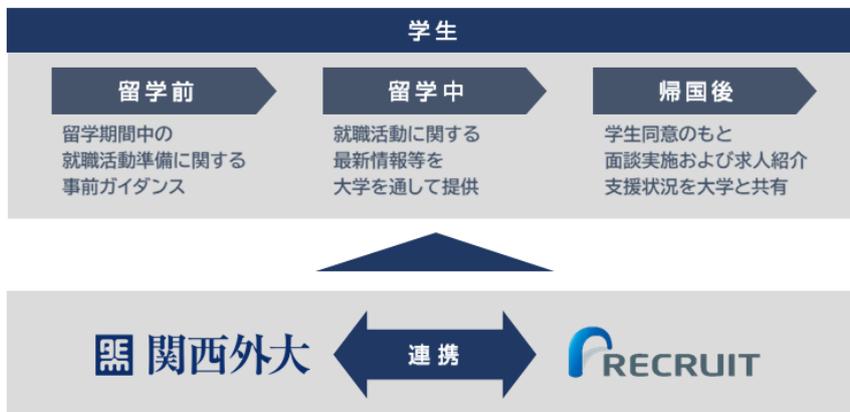
学校法人関西外国語大学（谷本榮子理事長、以下関西外大）と株式会社リクルート（代表取締役社長北村吉弘、以下リクルート）が協働して、関西外大の派遣留学生に特化したキャリア形成、就職活動支援を開始する。2024年7月下旬に予定している留学候補生を対象としたガイダンスを皮切りに、留学中、帰国後にわたり、包括的に支援プログラムを実施、学生が長期留学と就職活動を両立できるよう支援する。

（目的）

関西外大は世界55か国・地域405大学とのネットワークを確立、年間1,200人（2023年度）の留学生を海外に派遣している。留学期間が1年以上の長期留学を選ぶ学生も多く、帰国時期は3年生の12月頃から4年生の6月頃になる。

留学経験者は、就職における企業からの採用ニーズは高いものの、採用活動の早期化が進んでいる現在では、就職活動のスタートが遅れる傾向にある。このため、就職活動支援および企業への採用支援に豊富な実績とノウハウのあるリクルートと協業し、留学前から帰国後までにわたり、派遣留学生に特化したサポートを実施することで、充実した留学生活を送りながら、就職活動と両立できるサポート体制を協働で構築する。

▼派遣留学生へのキャリアサポート体制



PRESS RELEASE**(概要)**

長期の留学経験者は留学中に養った語学力や自立性が企業から高く評価され、採用ニーズが高い。しかし、帰国時期によっては、就職活動のピーク期とタイミングが合わないケースもあるため、状況に応じた就職支援が必要となっている。

これに対応するため、留学前、留学中、帰国後にわたって、関西外大とリクルートが協働で、包括的な支援を実施する。留学前には、派遣留学生に特化したガイダンスを行う。留学期間中は、リクルートが留学生ならではの就職活動準備のポイントや業界情報等のトレンドを踏まえたアドバイスを大学に提供。大学から学生に情報発信し、留学先でも、就職活動準備ができる体制を取る。

帰国後は学生の許諾を得たうえで、希望学生に対し、リクルートが学生個々の状況に合わせた面談実施、求人紹介を行う。情報は大学と共有し、速やかに進路決定できるよう、採用まで学生を大学とリクルートでサポートする。

■学校法人関西外国語大学

1945年創立。国際共生学部（国際共生学科）、英語キャリア学部（英語キャリア学科、英語キャリア学科小学校教員コース）、外国語学部（英米語学科、スペイン語学科、英語・デジタルコミュニケーション学科、国際日本学科）、英語国際学部（英語国際学科）、短期大学部（英米語学科、未来キャリア英語学科）、大学院、留学生別科からなり、学生数は約1万1000人。建学の理念に「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応じていく実学」を掲げている。

■株式会社リクルート

日本国内のHR・販促事業を中心に行う事業会社。

HR事業は、個人の求職活動や、企業の採用活動を支援するマッチングプラットフォームの運営、人材紹介サービス等の人材マッチングサービスを展開。販促事業では、住宅、美容、結婚、旅行、飲食等の分野で、オンライン中心のプラットフォームを運営。また、中小企業を中心に、SaaSソリューションの提供などを通じた、生産性向上支援サービスを提供。

【本件に関するお問合せ先】 関西外国語大学 キャリアセンター（中西、山形）

TEL = 072-805-2851 FAX = 072-805-2861 Mail = placemen@kansai.ac.jp

なお、このリリースは、枚方市政記者クラブと大阪科学・大学記者クラブに発信しています。